

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	室内音響小委員会	主 査 名：石渡 智秋 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会	委員長名：岩田 利枝 主 査 名：古賀 貴士
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	室内音響学に関する知見や技術を広く様々な空間に応用して社会貢献を目指す ・音環境啓発に関する活動方針および活動企画の決定 ・音環境啓発に関する情報収集 ・目的を達成するための WG 設置と、WG の活動に対するサポート	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	石渡 智秋(主査、永田音響設計)、青木 亜美(幹事、日建設計)、服部 暢彦(幹事、永田音響設計)、李 孝珍(東京大学)、池上 雅之(大林組)、上野佳奈子(明治大学)、大久保洋幸(NHK)、川井 敬二(熊本大学)、佐久間哲哉(東京大学)、佐藤 史明(千葉工業大学)、清水 寧(Sound/Form Design Lab)、志村留美子(日本設計)、羽入 敏樹(日本大学)、宮崎 秀生(ヤマハ)	
設置 WG (WG 名：目的)	・インパルス応答予測・計測 WG：明瞭度指標 STI に関するベンチマーク問題検討 ・スピーチプライバシーWG：広く普及する事を視野に、AIJES 化、出版等の検討を行う。 ・子どものための音環境 WG：子どものための空間に必要な音環境性能の把握。	
2018 年度予算	60,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス：インパルス応答予測・計測 WG http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s24/benchmark/index_j.html

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物	
講習会	
催し物	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1.音環境啓発につながる諸外国における規格情報の収集や、啓発活動の一環としてコンテンツ発信 WG 設置の検討など、次期につながる方針の検討を進めることができた。 2. スピーチプライバシーWG では、AIJES の企画案を作成し、来年度からは企画刊行に移行できる十分な成果をあげている。 3. 子供のための WG については、保育施設における音環境上の問題点やニーズの把握等の検討を行い、学校施設の AIJES 改定への協力につながる成果など、高い達成度である。 4. インパルス応答 WG では、新たに STI の算出に関する検討、HP でのベンチマーク問題の追加検討を行うなど着実な成果をだしている。
委員会活動の問題点・課題	特になし

2018 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

<p>総合評価 (4 段階評価)</p>	<p>A</p>
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>小委員会では音環境向上について広く社会に啓発を促すことを目的として、活発な議論を行ってきた。 全てのWGにおける、室内音響学の社会貢献を目指した活動の達成度は非常に高く、それぞれ着実な成果をあげている。 小委員会は WG からの報告についての活発な意見交換等を行い、各 WG に対する適切なサポート活動を行うことができている。 次期へつなぐ、新 WG の設置やさらに音響環境啓発に向けての企画等についての計画の検討も進んでいることから、十分な達成度をあげていると考える。</p>

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。